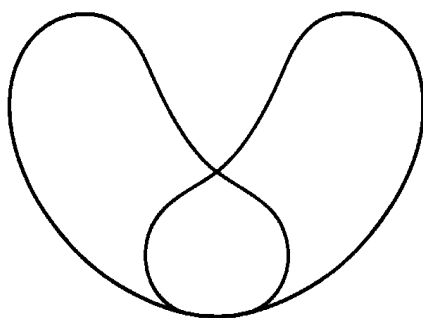


患者コーディネートの進め方（国際）

～ 医師・HCTC用 説明書 ～



公益財団法人 日本骨髄バンク
2020年3月

1. ドナー検索

米国(NMDP)、台湾(BTCSCC)、韓国(KMDP)、中国(CMDP)の骨髄バンクドナーからの移植が可能です。

- ・ 海外バンクへドナー検索を依頼する前に、WMDA(世界骨髄バンク機構)の検索サービスで適合ドナーの概数を調べることができます(無料)。ご希望の場合は移植調整部までご連絡ください。
- ・ 事前(または同時に)に JMDP への患者登録が必要です。
- ・ 海外バンクでのドナー検索を希望する場合(有料)は、「Search Request」および「海外バンクにおける患者登録に関する同意書」を移植調整部まで郵送してください。

HOME>医師の方へ>患者主治医の方へ>各種申請書

<https://www.jmdp.or.jp/medical/familydoctor/documents.html>

ドナー検索リストが届き次第、FAXで報告します。

- ・ 検索手数料として初回のみ 1 万円かかります(登録中は 4 バンクへの検索が何度でも可能)。
- ・ CMDPドナーは PB のみ提供可能です。他3バンクは BM, PB どちらも可能です。

<NMDPドナー検索時の注意点>

- ・ NMDP 以外のバンクに登録しているドナーが検索されることがありますが、それらドナーとのコーディネートは進められません。

2. ドナーコーディネート開始

- ・ ドナー検索リストの中から希望のドナーID に○印を付けて、ご署名の上、移植調整部へ FAX してください。
- ・ 各バンク 1 度だけ、コーディネート開始料がかかります。以下は各バンクの開始料目安です。
 - NMDP: コーディネート開始依頼した時点で 約 17 万円
 - KMDP、CMDP: ドナー確認検査を実施した時点で 約 12-14 万円
 - BTCSCC: 無料
- ・ 海外コーディネート費用は国内コーディネートと比べ高額です。コーディネート開始前に、患者(ご家族)に十分ご説明ください。

HOME>患者さんへ>骨髄バンク利用料金>患者負担金

<https://www.jmdp.or.jp/recipient/cost/share.html>

- ・ 当バンクが定める患者負担金免除基準に従って最大 100 万円の免除が可能です。
- ・ 国内ドナーと併行して海外ドナーのコーディネートが可能です。

<コーディネート進行可能人数>

NMDP、BTCSCC	制限なし
KMDP、CMDP	5人まで

3. ドナー確認検査(Confirmatory Typing : CT)

- 海外バンクドナーの検体は日本へ空輸され、(株)SRLにて以下の検査を実施します。

HLA 検査	NGS-SBT 法 (11 座) [A, B, C, DRB1, DRB3/4/5, DQA1, DQB1, DPA1, DPB1]
一般血液検査	感染症・生化学のみ実施、CBC は実施しない(検体輸送に日数を要し劣化するため)。

- 運搬の遅れ(悪天候等)により血液検体が劣化し検査できない場合がありますが、採血手数料および検体搬送費は患者(ご家族)にご負担いただきます。
- ドナー検索時 HLA と確認検査で出された HLA に相違があった場合も、患者負担金が発生します。
- 確認検査の結果、適格と判定されたドナーについては各バンク指定の選定通知書(Workup Request Form)を送りますので、期限内に選定／不採用についてご連絡ください。

<選定期限>

NMDP	確認検査から 60 日
KMDP、CMDP、BTCSCC	確認検査から 90 日

4. ドナー選定～最終同意確認、術前健診

4-1. ドナー選定

- BM/PB のいずれかを選択してください。
- NMDP の場合、時差により移植日が採取日の翌日(または翌々日)になります。その点を考慮して希望日を提示してください。
- 多くの場合、最終同意面談は実施しません。

4-2. バックアップドナーの取り扱い

- 国内ドナーは JMDP のルールに、海外ドナーは当該海外バンクのルールに従います。
 - 国内ドナー
1 位ドナーが術前健診を実施し、適格と判定された時点で、国内のバックアップドナーは全て終了
 - 海外ドナー
担当医師からお申し出のない限り、海外のバックアップドナーは移植完了までコーディネートを継続

4-3. ドナー選定後のキャンセル料

- NMDP、KMDP、CMDP では、患者理由で 1 位ドナーのコーディネートを終了する場合、キャンセル料がかかります。
- BTCSCC では、患者、ドナーいずれの理由で終了になっても、キャンセル料がかかります。

4-4. ウエストナイルウイルス検査

- 厚生労働省の通達により、海外ドナーから提供を受ける場合は、採取前にウエストナイルウイルス検査を実施し、前処置開始前に陰性を確認する必要があります。検査結果が陽性の場合には採取を中止します。
ドナー検体を日本に空輸し、SRL で検査を実施します。
- この検査に必要な検査料、採血手数料、検体輸送料は患者負担です。

5. 運搬

- ・ 国内と同様に、移植施設の責任下において BM/PB の運搬を行ってください。
- ・ 利用するフライト、ホテル名を移植調整部までお知らせください。
- ・ 復路搭乗時に必要な証明書(X 線照射回避のための運搬担当者証明書)は、現地で海外バンク担当者から受け取ってください。
- ・ 日本到着後、国内移動に航空機を使う場合は JMDP 発行の運搬証明書を提示してください。
- ・ NMDP の場合は、NMDP に運搬を依頼することができます(有料)。この場合、日本国内の空港までの運搬となりますので、到着空港まで受け取りに行ってください。空港内で BM/PB が引き渡されます。

6. その他

- ・ 海外バンクドナーから提供を受けるにあつては、当該国、地域における感染(SARS、BSE、鳥インフルエンザなど)の危険性が否定できません。また、テロや天災など起こり得るリスクについても、患者(ご家族)へ十分ご説明ください。
- ・ 国内コーディネイトと同様に、いかなる段階でもドナーコーディネイトが終了となる可能性があります。その際、終了理由に関らず発生した費用は患者に請求されます。
- ・ 移植完了後、提供ドナーに対して2度目の提供を依頼する場合(2nd donation)、バンクによっては初回採取からの経過日数を問わず依頼が可能です(JMDP では最低1年経過が必要)。
- ・ 移植後の患者について移植後報告書を求められる場合があります。その際は当法人からお知らせしますので、ご対応ください。
- ・ ドナーとの手紙交換ルールは国内と同様です。患者の手紙が日本語で書かれている場合は、JMDP で英訳を付けて海外バンク(ドナー)に送ります。また、当該海外バンクドナーからの手紙が外国語で書かれている場合は和訳を付けて患者に送ります。

患者コーディネートの進め方（国際）
～ 医師・HCTC 用説明書 ～

2020年3月1日 発行

編集者 公益財団法人 日本骨髄バンク
発行者 公益財団法人 日本骨髄バンク

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町3丁目19番地 廣瀬第2ビル7階

TEL 03-5280-4771 （移植調整部直通）

FAX 03-5280-3856 （同上）

日本骨髄バンクホームページ URL : <https://www.jmdp.or.jp/>

移植調整部 E-mail アドレス : jmdpishoku@jmdp.or.jp

HOT LINE(夜間・休日の緊急連絡) : TEL 090-3478-6020
